

2026 年全日本卓球選手権大会（ダブルスの部） 実施要項

（※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください）

- (1) 名 称 2026 年全日本卓球選手権大会（ダブルスの部）
 (2) 期 日 2026 年 1 月 29 日（木）～2 月 1 日（日）
 (3) 会 場 スカイホール豊田
 豊田市→（おいでんバス下山・豊田線ほか）→豊田本町→徒歩 5 分
 名鉄豊田市駅→徒歩 15 分、愛知環状鉄道新豊田駅→徒歩 17 分
 〒471-0861 豊田市八幡町 1-20 TEL: 0565-31-0451
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 愛知県卓球協会
 (6) 特別協賛
 (7) 協 賛
 (8) 用具協賛 株式会社三英（卓球台、スポーツフロア）、株式会社 VICTAS（ボール）
 (9) 競技種目 ①男子ダブルス ②女子ダブルス ③混合ダブルス
 (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 すべて 11 ポイント 5 ゲームマッチで行う。
 (11) 競技日程 別途連絡する。
 (12) 参加人員 下記表のとおり

表 1

都道府県名	男子複	女子複	混合複
愛知（開催地）、東京	5	5	5
北海道	4	4	4
埼玉、神奈川、静岡、大阪、兵庫、福岡	3	3	3
山形、茨城、栃木、千葉、新潟、長野、京都、岡山、広島、山口、長崎、鹿児島	2	2	2
その他の県	1	1	1

(13) 参加資格

- ① 参加者は、2025 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
- ② 男女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。ただし、男女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の 1 つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。
 (ロ) 日本で生まれたもので引き続き 3 年以上、日本に住所または居所を有する者。またはその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 (ハ) 引き続き 10 年以上日本に居所を有する者。
 (ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から 3 年を経過し、かつ引き続き 1 年以上日本に住所を有する者。
- ③ 各都道府県代表は各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
- ④ 日本学生卓球連盟にも登録している者は、種目毎に大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の 2 ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ返信用封筒（宛名を記入、切手を貼付）を添えて提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙を FAX する事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ本用紙（コピー可）を提出すること。
- ⑤ 同一人物における同一種目の予選会出場は 1 ヶ所限りとする。
 予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。

⑥ 無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	2025年全日本選手権	男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの当該種目に
2		2025年全日本社会人選手権	男女ダブルス各4位まで・・・男女ダブルスに
3	日本リーグ	*2025年の日本リーグ	男女ダブルス各4組・・・男女ダブルスに
4	日学連	*2025年の全日本学生選手権	男女ダブルスランキング各4位まで・・・男女ダブルスに
5	高体連	*2025年の全国高校選手権	男女ダブルス各4組・・・男女ダブルスに

1) 推薦出場のすべての選手は、推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
 2) 異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。
 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。また、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
 4) 各都道府県卓球協会（連盟）は、申し込みの際、備考欄に推薦理由を明示すること。

(14) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② ランキングペア（ダブルス種目の上位 8 シード）はフリー抽選とするが、組合せ全体を通し、所属チームに関する均等配分を優先する原則と都道府県の均等配分の原則が適用される。
- ③ ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト 16 決定戦よりスーパーシードとして出場する。ただし、推薦ペア数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
- ④ テーブルはグリーンもしくはブルーを使用する。
- ⑤ 使用球は、株式会社 VICTAS の「VP 40+ スリースター」のみを使用する。
- ⑥ ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
- ⑦ 同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを 2 種類以上持参すること。
- ⑧ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして JTTA が公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑨ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
- ⑩ フロアマットを使用することがある。
- ⑪ 競技領域は、正規の広さより狭まる場合がある。

(15) 参加料 ダブルス 1組 4,000円

(16) 申込方法

- ① 大会申込システムを使用して申し込むこと。
 なお主管地へは、申込データを本会より申込締切日の翌日を目安にメールで送付する。
 参加料は、加盟団体より現金書留または振込にて（公財）日本卓球協会宛に送金すること。
【現金書留】 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2
 Japan Sport Olympic Square（公財）日本卓球協会 宛
 TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931
【振込】 みずほ銀行 渋谷支店 当座 No5337 公益財団法人日本卓球協会
- ② 推薦出場の選手も含めすべての選手は、推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
- ③ 卒業高等学校所在地から予選会を経て出場権を獲得した場合はその都道府県から申し込み、推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをすること。
- ④ 重複、欠落がないよう注意すること。

(17) 申込締切 2025年11月25日(火)必着のこと。
 申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(18) 宿 泊 各自でご手配ください。

(19) その他

- ① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は認めない。
- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地および本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
- ③ 大会参加中、万一事故のあった場合は本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等をした場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

① (2024年度) 2025年全日本卓球選手権大会(ダブルスの部)からの推薦(申込は都道府県卓から)

男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{	飯村 悠太 (東京) 明治大		1	{	麻生 麗名 (佐賀) 日本生命	
	{	木方 圭介 (東京) 明治大			{	笹尾明日香 (佐賀) 日本生命	
2	{	岩井田駿斗 (山口) 野田学園中		2	{	梅村 優香 (東京) サンリツ	
	{	中野 琥珀 (山口) 野田学園中			{	塩見 真希 (東京) サンリツ	
3	{	小林 広夢 (東京) 日本大		3	{	伊藤 詩菜 (大阪) 四天王寺高	
	{	伊藤 礼博 (東京) 日本大			{	青木 咲智 (大阪) 四天王寺高	
4	{	西 康洋 (東京) 日野キングフィッシャーズ		4	{	木村 光歩 (広島) 中国電力ライシス	
	{	川上 尚也 (東京) 日野キングフィッシャーズ			{	枝廣 瞳 (広島) 中国電力ライシス	
5	{	鈴木 颯 (愛知) 愛知工業大		5	{	平 真由香 (茨城) レゾナック	
	{	萩原 啓至 (愛知) 愛知工業大			{	矢島 采愛 (茨城) レゾナック	
6	{	郡山 北斗 (東京) リコー		6	{	木塚 陽菜 (兵庫) 神戸松蔭女子学院大	
	{	小野寺翔平 (東京) リコー			{	鶴岡 美菜 (兵庫) 神戸松蔭女子学院大	
7	{	上村 慶哉 (東京) シチズン時計		7	{	野村 萌 (静岡) デンソー	
	{	三部 航平 (東京) シチズン時計			{	野村 光 (静岡) デンソー	
8	{	藤村 友也 (和歌山) 日鉄物流ブレイザーズ		8	{	面手 凜 (岡山) 山陽学園高	
	{	高見 真己 (和歌山) 日鉄物流ブレイザーズ			{	樋口 美空 (岡山) 山陽学園高	
	{	小野 泰和 (島根) 出雲北陵中・高			{	佐藤 瞳 (大阪) ミキハウス	
	{	黒田 昌秀 (島根) 出雲北陵中・高			{	橋本帆乃香 (大阪) ミキハウス	
	{	松山 祐季 (埼玉) クローバー歯科カスピッツ			{	小畑 美月 (静岡) デンソー	
	{	木造 勇人 (埼玉) 関西卓球アカデミー			{	菅澤柚花里 (静岡) デンソー	
ベ	{	有延 大夢 (佐賀) T.T彩たま		ベ	{	井 絢乃 (広島) 中国電力ライシス	
	{	田添 響 (佐賀) 岡山リベッツ			{	中森 帆南 (広島) 中国電力ライシス	
ス	{	三浦 裕大 (茨城) 筑波大		ス	{	小塩 遥菜 (愛知) トップおとめビッポンズ名古屋	
	{	田原 翔太 (茨城) 筑波大			{	小塩 悠菜 (東京) JOCエリートアカデミー/星槎	
ト	{	中村 廉 (広島) 瀬戸内スチール		ト	{	工藤 夢 (茨城) レゾナック	
	{	村上 莉羽 (広島) 瀬戸内スチール			{	原 芽衣 (茨城) レゾナック	
16	{	横谷 晟 (愛知) 愛知工業大		16	{	下山 秋帆 (大阪) クローバー歯科フェアリーズ	
	{	三木 隼 (愛知) 愛知工業大			{	大西瑚々那 (大阪) クローバー歯科フェアリーズ	
	{	渡辺 裕介 (東京) 協和キリン			{	上田 真実 (愛知) 豊田自動織機	
	{	龍崎 東寅 (東京) ケアリッツ・テクノロジーズ			{	阿部 里歩 (愛知) 豊田自動織機	
	{	松下 大星 (大阪) クローバー歯科カスピッツ			{	兼吉 優花 (大阪) 四天王寺高	
	{	江藤 慧 (大阪) クローバー歯科カスピッツ			{	高森 愛央 (大阪) 四天王寺高	
混合ダブルス							
1	{	木造 勇人 (埼玉) 関西卓球アカデミー					
	{	安藤みなみ (愛知) トップおとめビッポンズ名古屋					
2	{	小野寺翔平 (東京) リコー					
	{	枝廣 愛 (東京) 中央大					
3	{	岡野 俊介 (岐阜) 朝日大					
	{	田村 美佳 (岐阜) 十六フィナンシャルグループ					
4	{	渡部 民人 (東京) JOCエリートアカデミー/星槎					
	{	小塩 悠菜 (東京) JOCエリートアカデミー/星槎					
5	{	小林 広夢 (東京) 日本大					
	{	出澤 杏佳 (東京) 専修大					
6	{	馬渡 元樹 (神奈川) 信号器材					
	{	武山 華子 (神奈川) 中央大					
7	{	中村 煌和 (愛知) 愛知工業大					
	{	藤田 知子 (愛知) 愛知工業大					
8	{	岡本 翼 (神奈川) 木下アカデミー					
	{	高橋 青葉 (神奈川) 木下アカデミー					

② (2025年) 第59回全日本社会人卓球選手権大会からの推薦 (申込は都道府県卓から)

男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

③2025年の日本リーグ実業団連盟からの推薦 (申込は都道府県卓から)

男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

④ (2025年) 第91回全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部) からの推薦 (申込は都道府県卓から)

男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑤ (2025年) 第94回全国高等学校選手権大会からの推薦 (申込は都道府県卓から)

男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

注1) 段級制規程要約 (出場回数)

段位取得について (2023年3月の理事会で承認された段級制規程改定に基づく)

- ①全日本選手権大会 (一般・ジュニア部) ②全日本選手権大会 (ダブルスの部) ③全日本選手権大会 (団体の部)
④全日本選手権大会 (マスターズの部) ⑤全日本社会人選手権大会 ⑥全日本実業団選手権大会

上記6大会に出場する者は、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。